



日本聖公会
大阪教区総務局
〒545-0053
大阪市阿倍野区
松崎町2-1-8
TEL 06-6621-2179
FAX 06-6621-3097
発行責任者
総務局長 司祭 内田 望

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 office.osaka@nsk.org

第471号 2020年2月23日発行



「見て、見て、大発見したよ」

司祭 ジョイ 千松 清美

被献日の福音書の中でシメオンの賛歌が読まれます。私はこの賛歌の中の「異邦人を照らす啓示の光」という部分がいっつも心に残ります。イエスは、ユダヤの民族だけではなく、すべての人に神様が顕わに示されるための光だとシメオンは歌っています。そしてこの光は、すべての人の心を開いて、見えていなかった神様のご臨在を、その心のうちに受け入れるように照らし導く光です。この光は少しずつと変わることなく、人々を照らし続ける光です。



見ると、確かに薄い茶色の木の皮で覆われた根っこが、太陽の光に照らされて、ピカピカと金色に光って見え

ではなく、「地の塩だ」、「世の光だ」と断言して、あなたがたの存在そのものが「地の塩」、「世の光」であると言われました。しかし私たちは、私たちのうちにある塩も光も自分で作りだして蓄え持っているのではないと思います。塩も光も、実はイエス様ご自身がそのような方であり、私たちはそのイエス様を救い主として私たちの内にお迎えしています。ですから、私たちの内で塩、光として働かれるイエス様に私たちはお任せすることができると思います。

ある主日の午後、日曜学校の女の子とした会話から、光に照らし出されるという意味を私は考えました。当時勤務していた西宮聖ペテロ教会で造園業者が入って、久しぶりに庭の木の剪定をしました。長い間本格的な手入れをしていなかったため、大きな木の枝が生え放題になっていました。剪定後のある主日の午後、小学校6年生の女の子が嬉しそうに近寄ってきて、「千松先生、大発見した、からちよつと来て」と言って、庭の木の根元まで連れて行かれました。「ねえ、見て、見て」と彼女が指さす所には木の根っこと土しかなく、私はよく分からなかった。「何が大発見なん？」と聞きました。彼女はすぐに分からない私に少し苛立って「もう、ほらよく見てよ、ここに、金色の根っこ、があるでしょ」と言っていて、もう一度指を指した所を

ました。「わあ、本当に「金の根っこ」の大発見やな」と彼女と一緒に喜びました。庭の手入れをしたので今まで見えなかった所が、陽の光に照らされて、彼女の大発見につながるようになりました。これは自然界の平凡なことに過ぎないかもしれませんが、イエス様の光もこのことによく似ていると思います。今まで見えなかった所を照らして、その人にとって、とても大切なものや出来事を見えるようにして、その人に大きな喜びを与えてくださるのです。そしてその喜びがその人のうちで光となつて宿るのだと思いました。

まして私たちのなすべき働きは、どこに、どんな風にあるのか、毎日の生活の中でイエス様といっしょに見つけ出していけたら良いと思います。かならず、そこには気づかされたときの大きな喜びがあるはずですよ。私たちは、「ねえ、見て、見て、大発見したよ！」と周りの人に言っていて、喜びを分かち合っていきたいと願います。

マタイによる福音書5章13節〜20節に「あなたがたは地の塩である」そして「あなたがたは世の光である」とあります。決して「地の塩になるでしょう」とか「世の光になるようにしてあげよう」とか「そうならないさい」と言うの

（せんまつ きよみ・石橋聖 トマス教会牧師、東豊中聖ミカエル教会管理牧師、保育園チャプレン）



聖職リレーエッセー 13



わたしを正しい道に導かれる。

司祭 マルチン 韓 相 敦

3年前の6月下旬、サンテ
イアゴ巡礼の道に行った。11
日間、一日約20kmないし25km
程度を歩く日程だった。宿泊
には修道院が提供するアルベ
ルゲという宿を利用した。巡
礼の道の岐路には、必ず貝と
やじるし(↓)のサインがあ
る。これを確認しながら進ん
でいく。
アルベルゲに着くと、いろ

いろな国の人々に出会
った。それは巡礼の道
の情報交換の時間であ
り、楽しい交わりの時
間でもあった。皆は出
発が早かったので、な
ぜ暗いうちに出発する
のか、と問いかけると、
出来るだけ暑くなる前
に次の宿に到着するた
めだそうだった。それで私
も翌朝6時、真っ暗な
うちに出発した。出発
は他の人と共に行った
が、ペースが合わず、
いつの間にか一人になった。
けれども、頑張つて前に進ん
だ。ところが前の民家の窓か
ら誰かがランタンを振って
いるのが見えたが、特に考え
ずにただ前に行った。どれほど
歩いたか、知らないうちに、
道が二つに分かれていた。し
かし貝とやじるしがなかった。
これは間違つた道を行ってし
まったに違いない、そのまま
Uターンして、先ほどラン
タンが振られていったとこ
ろまで戻った時、やっと、
そのランタンの光は、私が
道を間違えていることを知
らせようとしてくれたもの

だと分かった。私は感謝した。
やがて貝とやじるしが見つか
るところまで着いた。一安心
したが、朝早く出発した意味
がなくなり、むしろ体力だけ
消耗してしまつた。
人生はある意味で巡礼の道
で、神さまが示されたサイン
を確認しながら進んでいくも
のだと思う。間違つたところ
に行ってしまったら、神さま
はランタンの光を振っておら
れる。
(はん さんどん・高槻聖マ
リヤ教会牧師)
※次回是小林聡司祭にお願
い
します。

公 示

教主降生2020年1月1日
日本聖公会大阪教区 教区主教
主教 アンデレ 磯 晴久

下記のとおり、人事異動を発令します。

司祭 バルナバ 小林 聡
2月29日付 大阪聖パウロ教会牧師の任
を解く。

司祭 シモン 原田 佳城
3月1日付 神戸教区からの出向を受け入
れる。大阪聖パウロ教会牧師に任命する。
(出向期間：2020年3月1日～
2023年3月31日) 以上

OK 運営委員会より

大阪・京都特別協働教区運営委員会

(文責：司祭 大岡左代子)

提案理由は
「①財政上の
問題 ②主教
座聖堂および
教区事務所の
問題 ③(京
都事件)の解
決が早急に
は困難、教区
会で3/4以
上の賛成を得
ることが困難
であることか
ら、組織的合
併を指向し視
野に入れた特
別協働教区関
係を確立、協働の強化と組織
的合併の条件を整えていく」
でした。また2017年5月
に調印した「特別協働教区」
関係協定書にも「合併を視野
に入れて、互いに祈り合い、
理解と研究を深め(中略)宣
教活動の活性化、協働のため
に相互のもつ賜物、力を結集
することに努めます」との方
向性が指向されています。そ
こで、当委員会ではこの度、
合併に向けてこれまで示さ
れた課題の具体的検討をさら
に進め、2021年の両教区
会に合併議案を提出、202
2年の日本聖公会総会での承
認を目標に活動することを確
認しました。この目標設定に
ついては1月の両教区常置委
員会において協議され、承認
されました。今後、より丁寧
な情報発信と常置委員会との
連携に努めてまいります。
総論賛成各論反対という実
態はどの時点においても存在
するでしょう。それでもなお
「二人よりも二人がよい」と、
互いに賜物を持ち寄り新たな
宣教共同体へと創りかえられ
ていくことに希望を持ちたい
と思ひます。

今年度は委員長に
大阪教区の太田幸彦
さんを互選し、当委
員会は4年目の歩み
を始めました。昨年
の両教区会では「多
様性がうみだす豊か
な宣教と牧会」のた
め、合併に向け具体
的な検討に入ってい
きたい、という両教
区主教の考えが示さ
れました。当委員会
は2016年の教区
会で設置されました。

2020年キリスト教一致祈祷週間

ヤコブ 小出 裕司

今年の共同礼拝は、大阪・神戸・和歌山の3か所で実施された。資料は、マルタ島とゴゾ島の諸教会からなる、マルタ・エキュメニカル協議会によって準備された。毎年2月10日を使徒聖パウロの船が難破した日として記念するが、この日はマルタの島々にキリストの福音がもたらされたことを祝い感謝する日でもある。大阪での共同礼拝は1月19日(日) 17時半よりカトリック教会大阪カテドラル聖マリア大聖堂、小礼拝堂で実施された。説教は日本基督教団都島教会牧師の井上隆晶師が担われた。参加者は約80人。献金の27,011円は台風19号による被害のあった、千葉県館山市ボランティアセンターに献げられた。(こいで ひろし・大阪聖アンデレ教会信徒)



主イエスの道を

今年C・M・

ウイリアムス主教が大阪の地に居を構え、小礼拝堂を設置し、毎日曜日(日)に礼拝を開始されて150年となる。1870年のことで、まだキリシタン禁制の高札(1873年諸外国からの強い要請のもと撤去された)が掲げられていた。様々な困難があっただろうが、ウイリアムス主教の燃えるよう

教区の動き

常置委員会報告

12月19日(第2回定例)

I. 主教報告及び諸報告

*台湾聖公会主教按手式が2月22日(土)に行われるので教区訪問団を結成する。*中部教区主教に選ばれた西

いう。大隈重信は、同主教から数学を学んだという。多くの人々に影響を与え、人を育てたウイリアムス主教であったが、彼の本懐は、彼の座右の銘「道を伝えて、己を伝えず」に凝縮されている。「道」とは「主イエスの道」である。今年私たちはウイリアムス主教の宣教への熱意に思いを向きたい。そして、まず聖職者、信徒、教会に集う私たちは、心新たに「主イエスの道」を学びたいと思う。ご賛同をお願いしたい。(主教アンデレ)

われているが、教区での位置付けを明確にするため担当のウイリソン司祭から現状をヒアリングすることとする。*「大阪・京都特別協働教区運営委員会(OK委員会)」の委員選任に関し、大阪側は磯主教、義平常置委員長、ウイリソン司祭、柳時京司祭(陪席)、辻彩乃、太田幸彦、辻潤(陪席)の各氏を指名、依頼する。*3月1日から神戸教区

II. 協議事項

*第124(臨時)教区会の日程を3月22日(日) 15時~17時とする。*15教会より50名の推薦があった信徒奉事者に関して、教区主教に全員を推挙した。*教区礼拝の予定について、当面川口基督教会を会場とする。*定期教区会の日程は11月23日(月)とする。*英語礼拝について、現在大阪聖パウロ教会で1回/月行

田佳城司祭が向度で大阪聖パウロ教会の牧師となり、小林聡司祭が聖贖主教会牧師と博愛社チャプレンとなることの人件説明を受けた。(以上)

1月22日(第3回定例)

I. 主教報告及び諸報告

*台湾聖公会主教按手式への教区訪問団に15名が参加する。*1月19日(日)に行われたキリスト教一致祈祷合同礼拝に磯主教と内田司祭が出席した。*京都教区との合同礼拝は、5月23日(土) 大阪城南キリ

教区関係教役者 逝去者記念聖餐式

◇ 3月11日(水) 午前10時30分

於: 主教座聖堂 (川口基督教会)

- 説教者 司祭 ペテロ 齊藤 壹
- 執事 ペテロ 井上 栄 (1966.3.1)
- 司祭 フレッド・ケトルウェル (1952.3.3 英)
- 主教 アブラハム 植松 従爾 (2017.3.7)
- 伝道師 南 民子 (1961.3.10)
- 司祭 山崎 貞一 (1951.3.15)
- 伝道師 宗像 和雄 (2013.3.16)
- 宣教師 フローレンス・エリザベス・ガーディナー (1970.3.17 英)
- 主教 クリストファー 木川田 一郎 (2015.3.18)
- 宣教師 リーラ・ブル (1924.3.20 米)
- 司祭 パウロ 安倍 騰 (1945.3.20)
- 主教 ヒュー・ジェームズ・フォス (1932.3.21 英)
- 司祭 オリヴァー・ヘイワード・ナイト (1969.3.22 英)
- 司祭 ヨハネ 山根 貞夫 (2018.3.22)
- 伝道師 ハンナ 田中 ヲハナ (1983.3.23)
- 宣教師 メアリー・ダブルデイ・ウッド (1891.3.24 英)
- 伝道師 林 歌子 (1946.3.24)
- 宣教師 ノーラ・フレデリカ・ジェニー・ボウマン (1965.3.24 英)
- 伝道師 姉川 鶯声 (1989.3.24)
- 司祭 岸本 隆一 (1953.3.26)
- 司祭 ステパノ 東海林 定一 (1993.3.26)
- 司祭 伊藤 堅逸 (1967.3.28)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。

スト教会で行う。
*大阪・京都特別協働教区運営委員会は合併を目標とする活動に専念する。

II. 協議事項

*教区礼拝の予定について、川口基督教会を会場とし、日程は9月22日(火・祝)とする。

*英語礼拝について、主教の元にある英語会衆とし、専門チームでの運営とする。
*4月からの礼拝担当表とイースター担当表について了承した。

*4月からの人事の第2弾の公示について了承した。

*原田佳城司祭に教区会議席を与えることについて了承した。

*川口基督教会での夜の聖餐式の扱いについて、主催は主教座聖堂とする。(以上)

教会・施設の動き

○大阪聖ヨハネ教会・聖ヨハネ学園
1月3日(金) 聖ヨハネ学園生を招いて恒例のお正月招

待プログラムを行なった。小学4年から高校3年までの22名の学園生が参加、卒園生・学園職員・教会信徒を併せ総勢35名が教会に集合、こどものための朝の礼拝を行った。その後、天王寺周辺で映画、食事、買い物を楽しんだ。また1月25日(土) 聖ヨハ

ネ学園創立130周年記念最後の行事として、高槻市総合センター最上階のレストランで聖ヨハネ学園(児童養護施設)学園生全員と学園法人理事・施設職員、林・韓両チャプレ

ン120名が一堂に集い夜景を見ながら祝宴を楽しんだ。

祝受洗



○大阪聖三一教会

ヨハネ 今西 保次 (12月22日)

○西宮聖ペテロ教会

エドワード 平田 誠廣
ソフィア 平田 芳子 (12月15日)

○大阪聖愛教会

洗礼者ヨハネ 古澤 良 (12月22日)

祝受按



○大阪聖三一教会

ヨハネ 今西 保次 (12月29日)

○西宮聖ペテロ教会

エドワード 平田 誠廣
ソフィア 平田 芳子
アントニオ 味元 太郎 (12月15日)

魂の平安を祈ります

○大阪聖三一教会

ステパノ 高田須磨雄 (12月14日・78歳)

○尼崎聖ステパノ教会

ヤコブ 勝原 靖人 (12月2日・68歳)

○西宮聖ペテロ教会

ルツ 佐伯 隆子 (1月16日・95歳)

○芦屋聖マルコ教会

ベタニヤのマリア 畑野 寿子 (11月16日・94歳)

○東豊中聖ミカエル教会

マリヤ 高木 輝子 (12月10日・92歳)

○大阪聖愛教会

ダビデ 浅野 忠章 (12月9日・74歳)

お詫び

第470号の逝去者欄に、畑野寿子姉(芦屋聖マルコ教会信徒)のお名前が抜けていましたので、今号に掲載しています。お詫び申し上げます。